

対話で考える施設の未来のカタチ

ワークショップニュース

Vol.

03

令和6年8月発行

浜田山駅周辺の老朽化した区立施設への対応等 に関する検討

令和6年1月に策定した「杉並区区立施設マネジメント計画」に基づき、老朽化した区立施設の更新に関する取組について、区が計画案を作成する前の段階から区民の皆さんと一緒に解決策(更新方法等)を考える、ワークショップを開催しています。

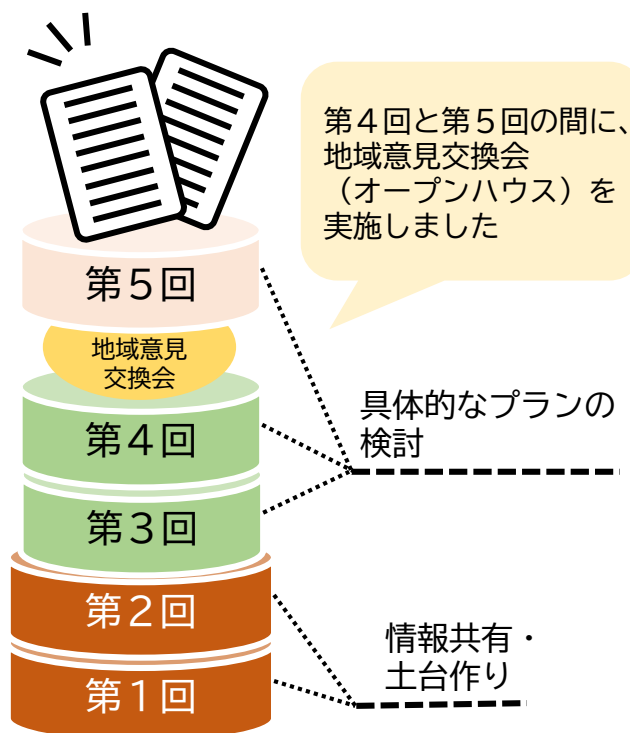
このニュースでは、6月24日(月)と7月16日(火)に開催した、第3回・第4回のワークショップの様子を合わせてお伝えします。

第3回・第4回のテーマ

ワークショッププランについて意見交換しよう！

4月～9月に全5回開催するこのワークショップでは、第2回までにプランの検討に向けて必要な情報の共有(土台作り)を行い、第3回からは具体的なプランの検討を行いました。

第3回では、第2回までに参加者の皆さんから出た意見を踏まえて区が作成した複数のワークショッププランをお示しし、第4回では各プランの追加情報等もお伝えしました。どちらの回も、これらの情報を基に、各プランの良い点や改善が必要な点、解決策等について意見交換を行いました。



ワークショッププランの具体的な検討

プラン作成の視点

第1回・第2回のグループワークで皆さんからいただいた意見を基に以下のとおりプラン作成の視点を整理しました。

多様な人々との交流

(参考にした主な意見)

- 区民同士でコミュニティを形成する場が少ない。
- 多世代が集える、交流できることが大切。

保育機能の充実

(参考にした主な意見)

- 保育園は将来的に若い世代が杉並区に住みたくなくなるような視点で検討してほしい。

高齢者の居場所の確保

(参考にした主な意見)

- 超高齢社会になり、これからも高齢者が増加することが想定される。
- 歩いて行ける場所にゆうゆう館がなくなると行かなくなる。

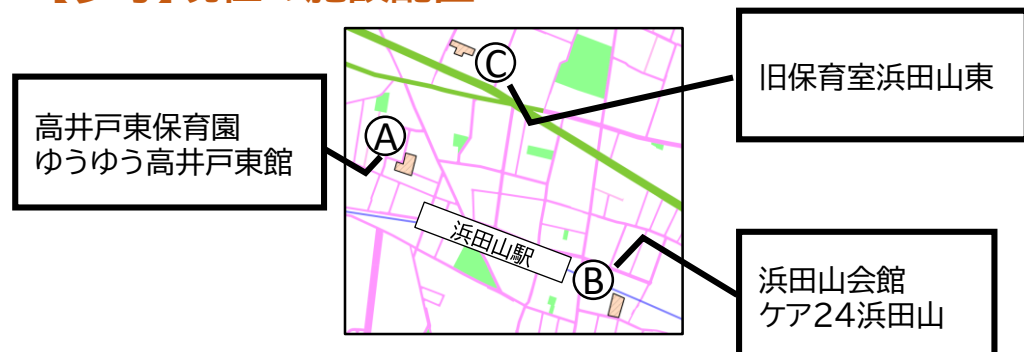
地域包括ケアの利便性

(参考にした主な意見)

- 単身独居高齢者世帯の増加が予想されるため、ケア24の役割はますます重要。
- 高齢者にとって、ケア24浜田山の移転先は死活問題。

第1回・第2回のワークショップで出た意見を踏まえ、区が複数のワークショッププランを作成しました。第3回以降は、各プランの良い点・改善が必要な点、解決策等をグループワーク等を通じて意見交換・情報共有するなど、具体的なプランの検討を行っています。第3回・第4回で示したワークショッププランのそれぞれの内容やプランに対するご意見をご紹介します。

【参考】現在の施設配置



PLAN ①

concept

集会施設を集約するプラン

●施設配置

- A地点: 高井戸東保育園・ケア24浜田山
- B地点: 集会施設(コミュニティふらっと or 浜田山会館+ゆうゆう館)
- C地点: 保育園仮設園舎→跡地活用検討

point /

- ・ケア24浜田山がA地点に移転するため、B地点にホールを維持した現在よりも大きな集会施設(ゆうゆう高井戸東館を機能継承したコミュニティふらっと or 浜田山会館+ゆうゆう館)を整備します。
- ・浜田山会館(ケア24浜田山移転後のスペース)を改修して整備することができるのは、集会室2室程度であり、現在のゆうゆう高井戸東館の部屋数(3室)を整備することはできません。
- ・3~4年程度、ケア24浜田山の仮移転先が必要となることや、保育園の園庭が現在の規模より若干小さくなるのが課題です。

main opinion

- 浜田山会館は、ホールを残しつつ、地域交流の場として広くなったスペースを有効活用できる。
- ケア24がA地点に移転してしまうと、下高井戸に住んでいる人などはさらに遠くなってしまいます。

PLAN ②

concept

保育環境の充実を図るプラン

●施設配置

- A地点: 高井戸東保育園
- B地点: 集会施設(浜田山会館 or コミュニティふらっと)+ケア24浜田山
- C地点: 保育園仮設園舎→集会施設(ゆうゆう館 or コミュニティふらっと)

point /

- ・高井戸東保育園は単独での改築となり、現在と同等以上の園庭を確保できます。
- ・B地点の集会施設だけでは、浜田山会館及びゆうゆう高井戸東館の利用者を受け止めきれない可能性があるため、C地点にも集会施設を整備します。
- ・C地点に集会施設を整備しますが、整備されるまでに4~5年程度かかるため、浜田山会館等の近隣施設やゆうゆう高井戸東館の従来の施設利用者の活動に影響が出る期間が長くなります。

main opinion

- 保育園の園庭を十分確保することができるのは良い。
- ゆうゆう館利用者にとって、4~5年も活動場所がないことは困る。
- 少子化が進む中で、保育園を単独で整備した場合、敷地を有効に活用できていないのではないかと懸念がある。

PLAN ③

concept

現在の施設配置を維持するプラン

●施設配置

- A地点: 高井戸東保育園+ゆうゆう高井戸東館
- B地点: 集会施設(浜田山会館 or コミュニティふらっと)+ケア24浜田山
- C地点: 保育園仮設園舎→跡地活用検討

point /

- ・ゆうゆう高井戸東館の面積が減少するものの、最終的に全ての施設が現在と同じ場所に戻ることによって、各施設の現在の利用者への影響が少なくなります。
- ・A地点に施設が整備されるまでに2~3年程度かかるため、浜田山会館等の近隣施設やゆうゆう高井戸東館の従来の施設利用者の活動に影響が出る可能性があります。
- ・保育園に必要な諸室配置により、ゆうゆう館は2階となり、保育園とゆうゆう館のそれぞれにエレベーター等の設置が必要となるため、コストが増加します。

main opinion

- 現在と同じ施設配置となることで、現在の各施設の利用者にとって安心感がある。
- A地点に整備する施設に、エレベーターを2つ設置することは、コストがかかることや部屋の延床面積が減ることからも懸念がある。

プランについて自分の考えを

全体で共有しよう

第4回の最後には、参加者全員で車座を作り、ワークショッププランについて自分の考えを共有しました。

自分のグループ以外の方の意見に触れることで、これまでとは違う視点や考え方を共有することができました。

次回のワークショップでは、これまでのワークショップや地域意見交換会（オープンハウス）等の意見を踏まえて、各プランについて意見交換を行い、ワークショップを締めくくります。



◀ 主な意見

- C地点に集会施設を整備したいと考えていたが、皆さんの意見を聞いて、現時点で活用方法を決定してしまうことは将来性がなく、有効ではないと感じた。
- 当初は現状維持は良くないと考えていたが、現在の施設利用者の意見を大切にすることも必要だと感じた。しかし、それにはゆうゆう館の夜間の稼働率が低いといった課題などを解消する必要があると思う。
- ケア24は、誰しものが利用する可能性がある施設であり、浜田山会館にあることが重要だと考えているが、浜田山会館にゆうゆう高井戸東館を機能継承し、コミュニティふらっとに転用する場合であっても、高井戸東保育園の園庭がそれほど減少しないことがわかったので、ケア24をA地点に移転することも選択肢の一つだと思う。

CHECK!

ワークショップ当日の配布資料のほか、8月2日に開催した地域意見交換会（オープンハウス）の資料や区立施設マネジメント計画の内容などについて、区ホームページ（右2次元コード）に掲載していますので、ぜひご覧ください。

また、この取組に関するご意見も募集していますので、ぜひご意見をお寄せください。



■問い合わせ

杉並区 政策経営部 企画課 施設マネジメント担当

〒166-8570

杉並区阿佐谷南1-15-1 ☎03-5307-0822